

相談内容概況

山形いのちの電話の対応時間は、毎日午後1時から午後10時まで、3交替で相談の電話を待ち受けています。一昨年（2021年）4月にコロナ感染の予防対策のため1か月間、電話相談を休止しましたが、2022年ではコロナ感染の終息はなかったものの相談員の感染予防や電話相談室の衛生管理につとめ年間をとおして活動でき、近年最多の電話相談を受けました。

2022年の概況は以下の通りです。

【概況】

2022年は7,480件の相談が寄せられました。前年の2021年と比べると前述の休止期間がなかったこともあり1,016件の増加です。利用者の内訳を見ると、性別では、男性：4,349件、女性：3,131件で男性が多く、年齢層では40～50代が最も多くなっています。ついで、60代、30代と続きます。働き盛り世代からの相談が全体の中心を占めておりますが、年代不明の相談が2,619件と多く、年代別の正確な把握は困難です。

近年、有名人の自殺報道が見られますが、媒体を問わず自殺関連の報道には、最後に「相談窓口」として受付の電話番号等が掲載されています。そのため「いのちの電話」の広報、周知になり認知度が上がり、電話をかけてこられる相談者も増加していると窺えます。

【自殺傾向】

自殺傾向の受信数は664件で全体の8.9%、昨年は8.4%でほぼ横ばいとなっています。相談内容別では例年男女とも「精神」「人生」が多く、「家族」「対人」と続いています。

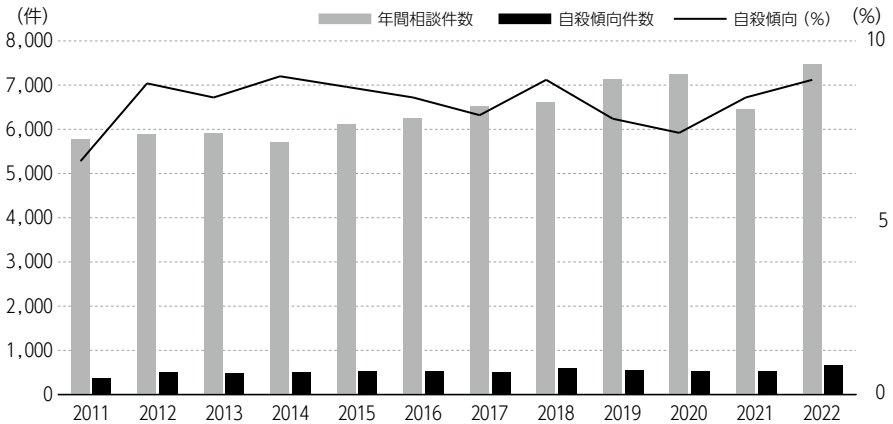
【自殺予防フリーダイヤル】

厚生労働省の自殺予防対策の一環として、全国のいのちの電話が協力体制をとり「自殺予防フリーダイヤル」を運営しています。山形いのちの電話も毎月10日フリーダイヤルの相談に対応しています。総受信件数は342件、毎月平均29件の相談が寄せられています。通常の電話相談に比べ自殺傾向は高くなっています。

今日、社会情勢からくる、孤立や生活への不安がますます強いストレスとなり、将来への不安につながっているようです。

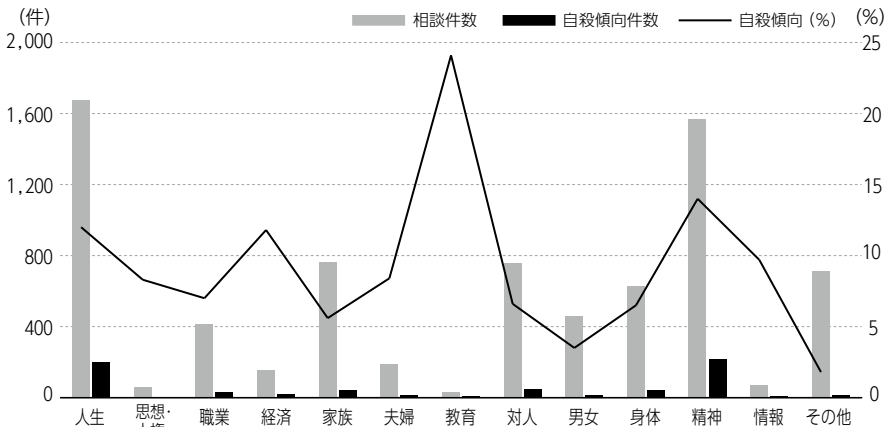
山形いのちの電話は、かけ手の心が開ける場所であり、希望をもたらす場所を目指して、ささやかながらも粘り強く活動を続けていく所存です。これからも、ご理解と温かい支援をよろしくお願いいたします。

① 年間相談件数と自殺傾向件数の推移



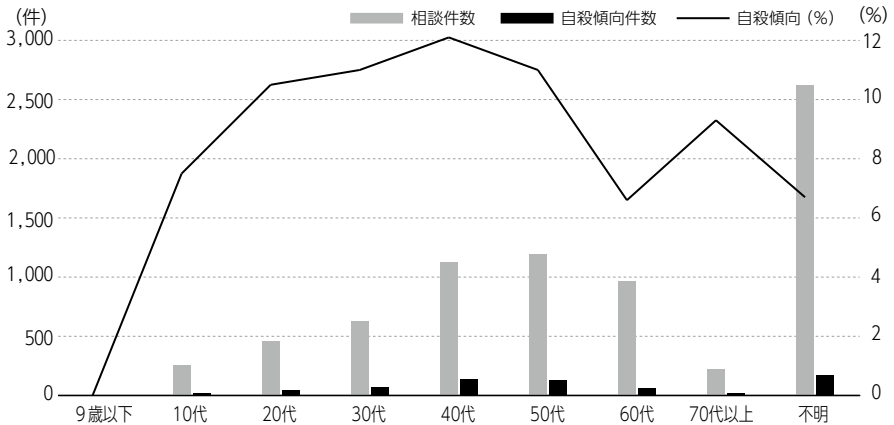
年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
年間相談件数	5,775	5,883	5,925	5,713	6,124	6,252	6,532	6,615	7,131	7,240	6,464	7,480
自殺傾向件数	384	518	496	515	533	525	516	592	555	539	542	664
自殺傾向 (%)	6.6	8.8	8.4	9.0	8.7	8.4	7.9	8.9	7.8	7.4	8.4	8.9

② 内容別相談件数と自殺傾向件数



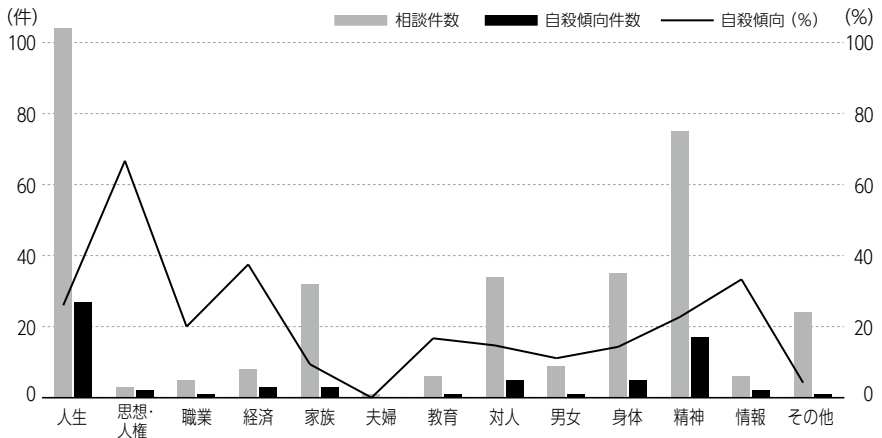
項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	1,673	60	415	153	764	191	29	755	460	628	1,569	72	711	7,480
自殺傾向件数	200	5	29	18	43	16	7	50	16	41	219	7	13	664
自殺傾向 (%)	12.0	8.0	7.0	11.8	5.6	8.4	24.1	6.6	3.5	6.5	14.0	9.7	1.8	8.9

③ 年代別相談件数と自殺傾向件数



項目	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
相談件数	0	254	457	630	1,124	1,198	971	227	2,619	7,480
自殺傾向件数	0	19	48	69	136	132	64	21	175	664
自殺傾向(%)	0.0	7.5	10.5	11.0	12.1	11.0	6.6	9.3	6.7	8.9

④ フリーダイヤル内容別相談件数と自殺傾向件数



項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	104	3	5	8	32	1	6	34	9	35	75	6	24	342
自殺傾向件数	27	2	1	3	3	0	1	5	1	5	17	2	1	68
自殺傾向(%)	26.0	66.7	20.0	37.5	9.4	0	16.7	14.7	11.1	14.3	22.7	33.3	4.2	19.9